

平成31年度学校評価アンケート結果のまとめ

昨年(平成30年度)の11月に実施いたしました「平成31年度学校評価アンケート」の集計結果等を報告させていただきます。保護者の皆様には大変お忙しい中、とても短い期間でお願いしたアンケートでしたが、全保護者の91.9%(30年度 97.1%)の皆様からご回答をいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。集計結果の方は、生徒・保護者・教職員に対するすべての項目を掲載し、「当てはまる」「やや当てはまる」の肯定的な評価の割合を前年度と比較できるように表記しておりますのでご参照願います。以下にアンケート結果の特徴的な点を述べます。

【肯定的評価が80ポイントを超えた項目】(30年度)

生徒	保護者	教職員
23項目中20項目(20)	25項目中15項目(12)	30項目中26項目(25項目中23)

【昨年度との比較で3ポイント以上上昇した項目】

生徒	保護者	教職員
16項目(6)	5項目(5)	7項目(7)
28「二中での充実した生活」82.3P 90.3P: +8.0P	4「課題解決」73.1P 79.7P: +6.6P	27「地域人材の活用」64.0P 74.0P: +10.0P

【昨年度より3ポイント以上下降した項目】

生徒	保護者	教職員
1項目(3)	1項目(6)	12項目(9)
8「家庭学習」52.7P 48.3P: -4.4P	20「道徳・人権」78.8P 74.8P: -4.0P	19「体力向上」96.3P 85.0P: -11.3P

【考察】

全体としては、三者を合わせた78項目中61項目で肯定的評価(昨年度比 6項目)であり、教育の主体である生徒の評価が上昇している点は一定の成果と捉えられるかと思えます。生徒を学年別で見ると、1、2年生が18項目、3年生が21項目で肯定的評価を超えており、3年生に至ってはすべての項目が前年度よりも上昇しています。保護者については、肯定的評価項目の割合が+12%の60%である一方で無回答の割合も大きいことから、あらゆる機会を通じて教育活動の内容を伝えていきたいと考えております。教職員については、30年度より3ポイント以上上昇した項目が昨年度同様7項目あった一方で、下降した項目も3項目の12項目ありました。

現在、アンケート結果の各項目の数値や学校関係者評価等をふまえ、今年度の教育活動の成果と課題を明確にした上で、改善策を練り、令和2年度の教育課程の編成に取り組んでいるところです。今後につきましては、「生徒一人一人が目を輝かせ、何事に対しても前向きに活動できる学校」を創造するために、生徒と教職員、保護者と教職員、そして教職員間における信頼関係をこれまで以上に構築し、本校の教育活動のより一層の充実を図ってまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。